

子  
ニ  
ア  
リ  
ン  
グ  
・  
旭  
鉄  
工  
丁  
V  
に  
決  
め  
た  
。  
落  
札  
金  
額  
は  
14

西日本建設業保証広島  
支店は、前払金保証実績 からみた2024年2月

「県」(54件)は28億86

JCT  
区)など

以降、  
無事  
が進め  
る。今  
月

町上  
町一  
丁目  
整備  
区

から自  
0・5

者の方  
などを  
確認を

「福山  
第一期

「府中  
校町1

30m  
地点

「工事に  
されて  
降る。発

# 「温度制御対策手引き(案)」など解説 今年度最後のテーマ別協議会 近未来コンクリート研究会

協議会」で延べ約70人が参加。維持管理の最適化に向けた議論をさらに深めた。

各協議会での議論のうち、広島工業大学工学部の竹田宣典教授が主査を務める「C協議会」では、竹田主査が作成に関わり、このほど中国地方整備局中国技術事務所が公表した「温度ひび割れ制御対策の手引き(案)」の概要を説明したほか、同

アッシュを少量使用した実験の報告と低炭素型ポラスコンクリートの開発に関する研究報告がなされ、日本建築学会が発刊した「フライアッシュを

使用するコンクリート調合設計・施工指針」の改訂版についても紹介。専門誌「セメント・コンクリート」4月号に近未来コンクリート研究会の記事が

掲載されることも報告した。また、コンクリートメンテナンス協会の江良和徳技術委員長らによる「M協議会」では、十河代表ら

年2月ま  
件数が3  
金額が2  
0万円。  
ると、件  
だが、請  
のマイナ  
過去10年  
は前年同  
目に高い

手引きが発注者、設計者、施工者の相互連携に触れている点や、発注者は設計と施工をつなげる役割もあることから、温度ひび割れに対する意識や技術力を向上させる必要がある一としている点などを強調。

同工学部の坂本英輔教授を中心に進めている「S協議会」では、フライ

橋面防水に関する適用例と安芸高田市での試験施工計画なども説明。5月には「予防保全を目的とした鉄筋コンクリートの点検要領(案)」を発刊予定であるとした。

なお、同会の総会は6月10日に開催予定。各議案の審議に加え、各協議会の成果報告などが行われる。

近未来コンクリート研究会(十河茂幸代表)は15日、今年度第4回目となる協議会を広島市中区で開催。初期ひび割れ抑制技術研究(C)協議会「脱炭素コンクリート技術研

究(S)協議会「RC構造物の延命化技術研究(M)



代表取  
役員広島  
部管掌( )  
行役員管  
達也

フジキ  
西日土  
店副支店  
業統括部  
阿部智樹  
工事部長